

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）：メルボルン大学（オーストラリア）

Q. 今回の留学プログラムの感想

日本での日常を離れ、自分のためだけに集中して時間を使える環境に身を置けたことは、何よりも貴重な経験でした。自分がどこまでやれるのか、何が足りないのか、そしてこれから何をしたいのか。普段の生活では見過ごしがちな問いに、じっくりと向き合うことができたのです。異文化に飛び込み、新たな視野を得られることはもちろん、その上で改めて自分を見つめ直すことができるのも、海外研修の大きな魅力だと感じました。この地で出会った人々は、才能と高いモチベーションに溢れていて、毎日が刺激に満ちていました。特に、研究のアプローチとして、物理学や化学分野といった他分野の研究者と医学分野の人々が活発にコラボレーションしている姿は、これからの世界の医学研究の流れを感じさせてくれました。この経験は、僕の将来を考える上で、確かな自信と明確な方向性を与えてくれました。

Q. 健康管理や危機管理について

ビザが直前になって取れなかったので渡航できない可能性がありとても不安でした。治安は比較的良好と聞いていたが、念のためパスポートとホテルのルームキーは肌身離さず持っていたので渡航後は特に大きなトラブルはなくて良かったです。

Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ

留学は事前に準備をしないといけないし英語もたくさん喋る必要があるから面倒くさいと思うかもしれませんが、でも少しでも留学に興味があれば、応募してみてください。準備は怠らないに越したことはありませんが、その場で機転を利かせて対応をすれば案外上手くいきます。海外の大学に行き現地で生活をすれば、対応力が身につく上に日本との比較ができ、そしてなぜその違いが生まれるのかを考えることでより深い理解を得て視野を広げることができます。

Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前など大変や不安だったこと

一番大変だったことはもちろんビザが取れるかどうかでしたが、他にもオーストラリアでの食事や現地での会話にも不安がありました。

留学中のお気に入りの写真



コメント 留学は準備大変ですが、実際に行くととても楽しいです！

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）：メルボルン大学（オーストラリア）

Q. 今回の留学プログラムの感想

研修では、東京科学大学とメルボルン大学の歯科教育や、国の医療制度などにおける共通点や相違点を知り、とても興味深かった。学生や先生は、質問に快く答えてくれ、とても親切だった。メルボルン大学の先生や学生は、様々なバックグラウンドを持つ方が多かったのが印象に残っている。先住民族の医療にまつわる話など、オーストラリアで実際に暮らしているからこそ分かるような話を聞くことができ、先住民族についての理解が深まった。メルボルン在住の日本人の方にお会いする機会が何度かあり、海外留学、研究、就職など、様々な選択肢があると肌で感じ、とても視野が広がったように思う。

Q. 健康管理や危機管理について

日曜日の昼下がりに街を歩いていると、大勢の人が集まってスピーチを聞いていた。ガザ地区についてのスピーチで、警察も大勢いてびっくりした。たびレジで情報は来ておらず、現地の警察官もスピーチしているだけだと言っていたので、デモではなかったのかもしれないが、危険なのではないかと思い、少し怖かった。

Q. 今回の派遣先への留学を希望している先輩たちへのメッセージ

留学することで日本との違いを知ることができて、とても興味深いと思います。また、海外の大学の歯科学生と交流することで、自分も頑張らなくては、と、学びに対するモチベーションが上がったり、留学を通して視野が広がることで、将来研究や就職する際の選択肢が増えるような経験ができたりすると思います。日本にはわからないような異文化を知ることができるのも、とても貴重な経験だと思います。

Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと

VISA取得が思っていたより時間がかかり、無事取得できるか不安だった。メルボルン大学の先生は英語に厳しいと耳にしたので、どれくらいの英語力を求められるのか、円滑にコミュニケーションができるか不安だった。

留学中のお気に入りの写真



コメント：メルボルン大学の写真です。広いキャンパス内を歩くのが楽しかったです。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）：シーナカリンウィロート大学（タイ）

Q. 今回の留学プログラムの感想

今回の留学では、タイの歯科医療制度や歯学教育の現場を肌で感じ、日本との違いを学ぶことができました。さらに、現地の学生と交流したり、週末に観光地を訪れたりして、これまで知らなかった文化や生活に触られました。先生や学生との英語でのやり取りは自分の英語力の不足から戸惑うこともありましたが、お互いに第二言語で話す経験は新鮮でした。また、現地学生の英語力の高さや歯科の知識の豊富さに刺激を受け、自分自身の勉強へのモチベーションが高まりました。病院見学では、日本でまだ学んでいない臨床的な内容に触れ、理解できない部分もありましたが、将来臨床を学ぶのが一層楽しみになりました。先生方や学生、現地の人々は皆親切で笑顔にあふれており、人の温かさを感じました。慣れない環境での10日間は、多くの経験を通して自分を成長させてくれたと実感しています。

Q. 健康管理や危機管理について

水道水を飲まないようにしました。生野菜、生魚なども避けていました。安全面については、貴重品をショルダーバッグに入れて常に自分の前に持つようにしたり、ホテルの部屋を出るときは貴重品をスーツケースに入れて鍵をしたりしました。

Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ

このプログラムは、現地の歯科事情を直接見て知ることができたり、現地の学生と英語を使って交流したりと日本では経験できない学びや出会いがたくさんあります。現地の学生は英語力が高く、勉強熱心で、低学年からすでに歯学の知識を身につけていて、とても刺激を受けました。自由時間も十分にあり、自分の行きたいところにも行けます。英語力に不安があっても、伝えようと思えば上手な表現でなくても汲み取ってくれるので、コミュニケーションをとうとうという意思さえあれば大丈夫でした。少しでも興味があれば、ぜひ挑戦してみてください。

Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと

スケジュールが直前になるまで分からないことが不安でした。タイの料理は辛いと聞いていたので、食べられるかどうかや、現地の人と英語でコミュニケーションをとれるかどうかなども心配でした。

留学中のお気に入りの写真



コメント：病院見学の途中でいただいたタイのスイーツです！

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）：シーナカリンウィロート大学（タイ）

Q. 今回の留学プログラムの感想

病院見学では、実際に5年生や院生が患者を診ている現場を見学した。下学年で手元での実習を積んでから患者を診る日本とは違い、模型での治療練習と患者の診療を同時に学ぶタイのカリキュラムが新鮮で印象的だった。英語に不安はなかったが、タイ人の方々（特に先生方）はアクセントに癖があり、最初は聞き取るのに苦労したが、コミュニケーションをよくとれたと思う。タイの学生はおすすめの観光地やカフェ、提供された食べ物の説明などを積極的に英語でしてくれて、嬉しかったしありがたいなと思った。また、一緒に病院を見学した九州歯科大学の4年生の方々が歯科医師の方にたくさん質問をしており、刺激を受けた。提供される食事は、ほとんどがものすごく甘いか辛いかのいずれかで、異なる食文化を経験することができた。

Q. 健康管理や危機管理について

お腹を壊さないよう、うがいや歯磨きの際に水道水ではなくペットボトルの飲料水を使った。しかし、何かが合わなかったのか、3日目に胃腸の調子が悪くなった。日本から虫よけスプレーを持参し使用していたが、部屋に蚊や蟻があり、蚊に3か所刺され、蟻に4か所かまれた。雨季だったのでデング熱になるのではないかと不安だったが幸い症状は出なかった。タイに住んでいた親戚に連絡し、おすすめの蚊よけクリームを教えてもらい現地で購入した。有名寺院など観光地の周りではトゥクトゥクやツアーの呼び込みが大勢いて声をかけられるが、大体ぼったくりなので無視する勇氣が必要。

Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ

タイに滞在するうえで、市民や学生、教授の方々まで本当に優しい人が多いと感じました。特に学生たちは皆とても英語が堪能で、たくさん話しかけてくれるし質問にも答えてくれます。過去に東京科学大学に留学していた教授の方も多く、歓迎されているなと思いました。病院見学やカリキュラムについてのお話、観光など、様々な場面で日本との違いを発見でき、非常に楽しく新鮮な気持ちで10日間を過ごすことができました。行こうか迷っているなら絶対に行くことをおすすめします！

Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前など大変や不安だったこと

スケジュールが渡航1週間前まで出なかったのが、いつ何をするのか、どこに行くのか、何を持参すればよいのか全くわからず不安だった。

留学中のお気に入りの写真



コメント：タイ料理の中で一番好きなパッタイ（左）とワット・プラケオ（右）

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同